

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 川平3丁目～5丁目，中山7丁目～9丁目，西勝山				
	(連合町内会) 川平学区連合町内会 (学区) 川平小学校，中山中学校，桜丘中学校 (地域包括支援センター)，国見ヶ丘地域包括支援センター，桜ヶ丘地域包括支援センター				
人口※1	9,655 人	高齢者数 ※1	3,096 人	高齢化率※1	32.07%
世帯数※1	4,583 世帯	未就学児数※1	383 人		
地区の概況	区内の北西部に位置し、都市計画道路（北環状線）をはさんで泉区と接する地域。高齢化の進む一戸建ての団地と、公園、集会所等諸施設の充実する市営住宅、公団住宅等がある地域。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	川平学区連合町内会（川平団地町内会，西勝山町内会，中山北部町内会，川平わかば町内会，杉崎町内会）			
	地域活動団体 (町内会除く)	川平地区民生委員児童委員協議会，川平赤十字奉仕団，川平地区募金会，川平地区防犯協会，川平地区防災協会，仙台北地区交通安全協会川平支部，川平地区児童福祉協議会，川平学区民体育振興会，川平地域市民委員会，子ども会育成会（5団体），老人クラブ（3団体），福祉友の会（5団体）			
	NPOボランティア団体				
	高齢者関係施設等	グループホーム多機能ホーム木かげ，ニチケアセンター川平，ほくとケアプランセンター，愛心ヘルプサービス，デイサービスはるの風，リハビリデイサービスきわみケア，ハピネスホームみつきー，ポラリスデイサービス川平，国見ヶ丘地域包括支援センター，桜ヶ丘地域包括支援センター			
	障がい者関係施設等				
	子供関係施設等	川平マイスクール児童館，双葉幼稚園，小規模保育事業C型（はっぱのおうち）			
	教育機関	川平小学校，桜丘中学校，中山中学校，仙台大学付属明成高等学校，明仙フィールド川平			
	市民利用施設	川平コミュニティセンター・老人憩いの家，中山市民センター，マイスクール川平(活動室)			
	その他	桜ヶ丘クリニック，佐藤茂内科，工房しらかば，川平内科，齋藤こども医院，しかない整形外科，青葉消防署荒巻出張所，中山交番，桜ヶ丘駐在所，川平耳鼻咽喉科クリニック，一本松整骨院，森のいぬねこ病院 川平ペットケアセンター			

※1 令和6年4月1日現在の「仙台市町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域（街区符号・住居番号）による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和・平成 54 年 4 月 15 日			
社協会員数	2,400 名（普通会員数 2,394 名、特別賛助会員数 6 名）※令和 5 年度実績			
会 長	氏 名	菅沼 勇	就任年月日	平成 4 年 4 月 16 日
	兼務の状況	川平赤十字奉仕団団長，川平地区募金会会長		
組織体制	（役員体制）会長 1 名，副会長 2 名，総務部長 1 名，広報部長 1 名，募金部長 1 名，副部長 5 名（総務 1 名・経理 1 名・福祉 1 名・広報 1 名・募金 1 名） 地域福祉活動推進員 1 名，監事 2 名、部員 7 名 ※経理部長は副会長 1 名が兼任 （活 動 者）22 名 （活動者呼称）社協役員(理事)			
主な活動拠点	有→	（名 称）		
	無→	（主な活動場所）川平コミュニティ・センター		

地区社協活動シート

川平地区社会福祉協議会

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要		5 町内会ごとに実施		
会議・研修		ネットワーク推進会議：1 回 その他会議：12 回 支援者研修：1 回 役員研修：1 回 地区社協主催その他研修：1 回		
活動の概要 (令和 5 年度実績)	安否確認活動		生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯 (実数)		実施対象世帯 (実数) ※2	実施回数
	<u>1,473 世帯</u>		<u>0 世帯</u>	<u>11 回</u>
	(内訳)		(内訳)	延べ参加数
	一人暮らし高齢者世帯 <u>831 世帯</u> 日中独居高齢者世帯 <u>0 世帯</u> 高齢夫婦世帯 <u>332 世帯</u> その他の高齢者がいる世帯 <u>91 世帯</u> 障がい者のいる世帯 <u>51 世帯</u> 子供のいる世帯 <u>73 世帯</u> その他の世帯 <u>95 世帯</u>		一人暮らし高齢者世帯 <u>0 世帯</u> 日中独居高齢者世帯 <u>0 世帯</u> 高齢夫婦世帯 <u>0 世帯</u> その他の高齢者がいる世帯 <u>0 世帯</u> 障がい者のいる世帯 <u>0 世帯</u> 子供のいる世帯 <u>0 世帯</u> その他の世帯 <u>0 世帯</u>	<u>244 人</u> (対象) ☒ 高齢者 ☐ 障害者 ☒ 子育て中の親 (子) ☐ 子ども ☐ その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照
	実施回数 (延べ) <u>2,762 回</u> 主な支援内容 [訪問, 電話, 見守り (外から), その他]		実施回数 (延べ) <u>0 回</u> 主な支援内容 []	

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期 (10月～3月) における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	川平地区社協だより	発行頻度	2 回
	発行部数・配布方法等	4,000 部×2 回 (全戸配布)		
	その他の広報	行事チラシ：2 回 (研修会の案内回覧用) 820 部		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	○高齢者の対象の“いきいきサロン”活動の推進 ○乳幼児対象の子育てサロン“かわだいラッコ”の推進 ○三つの募金活動の推進(日赤会費, 社協会費, 赤い羽根共同募金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため, いずれの活動も懸念があるときには, 無理はしないで中止とする。 ※今年度は川平マイスクール児童館や中山市民センターとの共催は計画しない。
-----------	---

地区社協活動シート

川 平 地区社会福祉協議会

6. 地区社協活動の特徴

「川平地区社協」の役員 22 名は、「川平赤十字奉仕団」と「川平地区募金会」の役員も兼務し、全員が「三つの顔」をもって活動しています。

三つの役割をバランスよく整えて町内会や地域団体等との連携や協力などを大切にしてきた歴史があります。こうして培ったチーム力を発揮して、人に優しいふるさとづくりに努めています。